

人名索引 + 解説

(カッコ内は生年月日)

- アーヴェン, Aven, P.(55/3/16)91 92年対外経済関係相。94年アルファ銀行社長133 ~ 135, 136, 223
- アニシモフ, Anisimov, V.(51)Coalco社長。ウラルスターリ(NOSTAはウラルスターリに改称)株の100%, ロシア第2位の鉄鉱石供給企業ミハイロフスキーGOK株の97.57%などを保有する閉鎖型株式会社メタロインヴェスト株の50%を保有。残りはウスマノフが保有.....54, 140, 223
- アブラモヴィッチ, Abramovich, R.(66/10/24)99年に下院議員。00年チュコト自治管区知事に選出。03年英国の名門サッカーチームを買収。05年シブネフチ株を政府に売却。知事再任。モスクワ・ユダヤ人センター代表およびロシア・ユダヤ人団体連盟メンバー14, 79, 120, 144 ~ 150, 155, 171, 225, 232
- アブラモフ, Abramov, A.(57/2/10)99 04年大統領府副長官。04年大統領補佐官136, 142, 225
- アレクペロフ, Alekperov, V.(50/9/1)90年ソ連石油ガス工業省次官, 91年同第一次官。91年ルクオイル社長 ...97, 112, 113, 116, 117, 125 ~ 129, 225
- イオリフ, Iorikh, V.(58/9/9)04年鉄鋼グループ・メチェル社長 ...223
- イヴァニシヴィリ, Ivanishvili, B.(56)銀行ロツシースキー・クレジットとインペクス銀行を支配223
- ウスマノフ, Usmanov, A.(53/9/9)00年ガスプロム・インヴェスト・ホールディング社長52 ~ 54, 55, 70, 222, 223
- ヴェクセリベルグ, Vekcel berg, V.(57/4/14)02年チュメニ石油会社社長(重役会議長)に選任。03年SUAL会長(取締役会議長)

- に就任。ユダヤ人139 ~ 143, 167, 225
- ヴォロシン, Voloshin, A.(56/3/3)99 03年大統領府長官
50 ~ 52, 55, 60, 62, 135, 144, 147
- ヴァヒレフ, Viakhirev, R.(34/8/23)92年ガスプロム社長(重役会
 議長)。96年同会長(取締役会議長)兼務。00 01年会長はメ
 ドヴェーチェフに。01年社長から会長に。02年会長辞任
44, 48 ~ 50, 52, 53, 55 ~ 57, 58 ~ 60, 62, 63, 69,
 75, 117, 237
- エフトゥシェンコフ, Evtushenkov, V.(48/9/25)93年シスチエーマ
 を設立し, 取締役会議長。05年社長225
- グシンスキー, Gusinskii, V.(52/10/6)97年メディア・モスト社長。
 00年逮捕・釈放後, 国外退去65, 66, 67, 70
- クズィミチョフ, Kuz michev, A.(62/10/15)アルファ・グループの
 共同保有者。アルファエコー・グループの取締役会議長
131, 133, 225
- グレフ, Gref, G.(64/2/8)00年, 経済発展貿易相.....48, 205
- ケリモフ, Kerimov, S.(66/3/12)99 03年, 03年 - 下院議員。ディ
 ーラー・ナフタ - モスクワの保有者225
- コフ, Kokh, A.(61/2/28)97年副首相。00 01年ガスプロム・メデ
 ィア社長68
- スルコフ, Surkov, V.(64/9/21)99年大統領府副長官131, 135
- ズュージン, Zyuzin, I.(60/5/29)03年鉄鋼グループ・メチェルが設
 立され, 取締役会議長223
- セチン, Sechin, I.(60/9/7)99年プーチン大統領代行の大統領府副
 長官。00年プーチン大統領就任後, 同副長官。04年ロスネフ
 チ会長(取締役会議長)兼務47, 63, 147, 171
- タリコ, Tariko, R.(62/3/17)銀行ルースキー・スタンダルト取締役
 会議長223
- チェルノムイルジン, V.(38/4/9)92 98年首相。01年駐ウクライ

- ナ・ロシア大使44, 49, 116, 117, 121, 134
- ツヴェトコフ, Tsvetkov, N.(60/5/12)96 97年ルクオイル副社長。
05年商業銀行アフトバンク・ニクオイル, 投資銀行グループ
ニクオイル, ブリャンスク国民銀行, クズバス石炭銀行を金
融コーポレーション・ウラルシブに統合した銀行ウラツシブの
重役会議長125 ~ 127, 225
- デリパスカ, Deripaska, O.(68/1/2)00年ルースキー・アルミニウ
ム社長。01年パーザヴィ・エレメント会長(取締役会議長)
.....120, 144, 145, 148, 149, 203, 225, 232
- ハダルコフスキー, Khdorkovskii, M.(63/6/26)98年ユコス社長(重
役会議長)。03年逮捕, 社長を辞任。ユダヤ人147, 148
- バトゥーリナ, Baturina, E.(63/3/8)ルシコフ・モスクワ市長の妻。
閉鎖型株式会社インテコ社長223
- ハン, Khan, G.(61/10/24)96年アルファエコー社長。ユダヤ人
.....131, 133, 134, 141, 143, 225
- プーチン, Putin, V.(52/10/7)00年大統領。04年大統領再選
.....8, 14, 41, 44, 45, 48, 50, 52, 56, 70, 72, ,
73, 75, 116, 119, 135, 136, 145, 147, 150, 155, 158, ,
163, 165, 167, 168, 170, 171, 176, 182, 184, 186, 192, ,
193, 195, 196, 201, 205, 207
- フェドゥン, Fedun, L.(56/4/5)94年ルクオイル副社長, 重役会メ
ンバー125, 223
- プガチョフ, Pugachev, S.(63/2/4)92年有限会社メジプロム銀行会
長(取締役会議長), 01年上院議員147, 156, 168, 169
- フラトコフ, Fradkov, M.(50/9/1)04年首相。ユダヤ人.....203
- ブラヴァトニク, Blavatnik, L.(57/6/14)86年Access Industries 設
立。91年合弁会社レノヴァ設立139, 141
- フリードマン, Fridman, M.(64/8/21)91年アルファ銀行会長(取締
役会議長)。02年からロシア連邦ユダヤ人組織指導者コンフ

エデレーション代表	131 ~ 134 , 225	
フリステンコ, Khristenko, V.(57/8/28)97	98年財務省次官。98年副首相。99年第一副首相。00年副首相。04年産業エネルギー相	48
プロホロフ, Prokhorov, M.(65/5/3)00	01年ロスバンク社長。01年ノリリスクニッケル社長	225
フロロフ, Frolov, A.(64)鉄鋼メーカー集団 Evraz Groupの取締役兼Senior Executive副社長で、大株主。06年5月からエヴラズ・グループ取締役会議長に就任予定	223	
ベレゾフスキー, Berezovskii, B.(46/1/23)96	97年安全保障会議副書記。98 99年CIS執行書記。99 00年下院議員。00年国外退去	51 , 118 , 119 , 144 ~ 146 , 149 , 150 , 232
ボグダノフ, Bogdanov, V.(51/5/28)84年企業合同スルグートネフチガス企業長。92年公開型株式会社スルグートネフチガス社長。01年ハンティ・マンシ自治管区議会議員に選出	151 , 153 , 154 , 225	
ボグダンチコフ, Bogdanchikov, S.(57/8/10)98年ロスネフチ社長	156 ~ 159 , 161 ~ 164 , 166 ~ 173	
ポターニン, Potanin, V.(61/1/3)96	97年第一副首相。98年持ち株会社インターロス会長(取締役会議長).....	153 , 225
ポポフ, Popov, S.(71/8/12)00年メリニチェンコとともにMDM産業グループを組織。00年からMDM銀行取締役。03年から金融グループMDM株の50%を保有.....	168 , 223	
マカロフ, Makarov, I.(62/4/5)99年有限会社イテラ・ホールディング会長(取締役会議長)。02年石油ガス会社イテラ会長	57 , 59 , 60	
マフムドフ, Makhmudov, I.(63/12/5)ウラル鉱山冶金会社(UGMK)を中心とするグループを主導.....	224 , 225	
ミヘリソン, Mikhel son, L.(55/8/11)94年管理会社ノヴァフィンイ		

ンヴェスト社長。03年同社改編後のノヴァテク社長。ノヴァ フィンインヴェストのイテラ・ホールディングとの合併後に設 立された石油ガス会社イテラの社長(重役会議長)を兼務59, 223	
ミレル, Miller, A.(62/1/31)00年エネルギー省次官。01年ガスプロ ム社長(重役会議長)。02年取締役会副議長を兼務44, 48, 52, 53, 56, 60~63, 69, 75, 76, 129, 147, 156, 167, 169, 172	
メドヴェーチェフ, Medvedev, A.(55/8/14)02年ガスエクスポート 社長, ガスプロム重役会メンバー。05年ガスプロム副社長 (重役会副議長)を兼務63, 76	
メドヴェーチェフ, Medvedev, D.(65/9/14)99年連邦政府官房次官, 99-00年大統領府次官, 第一次官。00-01年ガスプロム会長 (取締役会議長), 01年同副会長, 02年同会長。03年大統領府 長官。05年第一副首相48, 136, 170	
メリニチェンコ, Melnichenko, A.(72/3/3)01-05年からMDM銀 行取締役会議長。03年に設立された金融グループMDM株の 50%を保有168, 222, 223	
モルダシヨフ, Mordashov, A.(65/9/26)02年セーヴェルスターリ会 長(取締役会議長), セーヴェルスターリ・グループ社長225	
ラシニコフ, Rashnikov, V.(48/10/13)97年マグニトゴルスク冶金 コンビナート社長。05年同会長(取締役会議長).....223	
リーシン, Lisin, V.(56/5/7)96年ノヴォリペツク冶金コンビナート 会長(取締役会議長)225	
ルィボポヴレフ, Rybolovlev, D.(66)ウラルカリー取締役会議長223	
レベヂェフ, Lebedev, A.(59/12/16)95年ナショナル・リザーブ銀 行社長。ナショナル・リザーブ・コーポレーションを支配。 03年下院議員223	

付表 1 ロシアを支える資源関連の個別企業集団

ガスプロム

1989年8月8日付ソ連閣僚会議決定でガス工業省を母体に国家ガスコンツェルン・ガスプロムに改組。92年11月5日付ロシア連邦大統領令で、同社をもとにロシア株式会社(RAO)ガスプロム設立。98年6月の株主総会で、公開型株式会社(OAO)ガスプロムに改組。私有化に際して、株式の15%が新旧従業員に配分され、私有化小切手オークションで33.9%が販売された。10%は転売向けにガスプロム自体に売却された。92年11月5日付ロシア連邦大統領令第4項で、同社設立から3年間、政府は40%を下回らない株式を保有することになり、96年3月20日付大統領令で3年間の延長が決まった。

1994年2月17日付で株式の35%はヴァヒレフ社長(当時)に3年間信託することでソスコヴェツ第一副首相(当時)と合意。97年5月12日付大統領令で、この35%株式について、民法などに従った信託管理契約をガスプロム社長と締結するよう政府に命じた。97年12月同契約が締結され、99年3月1日までのガスプロム社長への信託管理が確認された。政府の一方的契約破棄が認められた。

会社の定款で外国投資家による合計で9%を上回る株式取得が禁止された。1997年5月28日付大統領令で、外国投資家の総持ち分制限が9%と規定された。2004年末で、連邦政府(連邦資産管理庁)はガスプロム株の38.37%を保有。非居住者は11.5%を保有。

ガスプロムは持ち株会社で、ガス採掘会社とガス輸送会社のほか、ガスプロム銀行(2005年1月1日現在、資産第3位3,526億ルーブル)、ガスプロムメディア、ガス加工を行うSiburなどを子会社として保有。04年末で、100%子会社数は58、50%超~100%未満の子会社は48。子会社(シブネフチを含む)を含めた05年の平均従業員数は39万7,000人。05年7月1日までに、ガスプロムの4子会社からガスプロムの株式の10.74%を、国有企業である連邦単独企業テクノプロムエクスポルトの子会社ロスネフチガスが買い取った。支払いは年末までに3回に分けて行われた。連邦資産管理庁はすでにガスプロム株の38.373%を保有していたから、05年7月以降、国家はガスプロム株の49.113%を保有していることになる。

ほかにも、1992年に設立された公開型株式会社ロスガジフィカーツィヤはガスプロム株の0.89%を保有している。ロスガジフィカーツィヤ株の74.55%は連邦資産管理庁が保有しているから、ガスプロム株の0.663%分の権益をもっていることになる。ただ、これと49.113%を合わせても49.776%にしかない。そこで、ロスガジフィカーツィヤの発行済み株式に占める連邦資産管理庁の保有株割合を99%まで高める案が出ている。ただ、政府系のヴェシエコム銀行の管理分などを合わせると、政府のガスプロム株の保有比率は50%を超えているとみる見方もある。

ルクオイル

1991年2月1日、国際石油コンツェルン「ランゲパス・ウライ・コガリムネフチ」が登録された。91年11月25日、国家コンツェルン「ランゲパス・ウライ・コガリムネフチ」が登録され、92年4月22日付定款変更で、石油コンツェルン「ランゲパス・ウライ・コガリムネフチ」に名称変更。同年11月17日付大統領令および93年4月5日付政府決定に基づいて、もともになった三つの会社の名前をとって公開型株式会社「石油会社ルクオイル」に改組。

公開型株式会社「石油会社ルクオイル」の資本は当初、同社に入っていた企業（採掘7社、製油2社、販売・サービス15社）の株式の38%（普通株の50.67%）および国家コンツェルン「ランゲパス・ウライ・コガリムネフチ」の資産や政府の寄付から構成されていた。ルクオイルは持ち株会社で、当初、資本に組み込まれた株式（38%、普通株の51%）を提供したのは、7採掘企業、2製油所、15販売サービス企業だった。

1999年末、ルクオイルは公開型株式会社コミテックという石油会社を買収し、2000年に内部化した。株主構成をみると、連邦資産基金の持ち株比率が99年末で26.2%、00年末で15.5%、01年末で13.5%、02年末で7.6%、03年末も7.6%だったが、04年末には0%になった。完全私有化されたことになる。7.6%の株式は米国のコノコ・フィリップスが買収した。ルクオイルは持ち株会社で、石油化学会社としてルクオイル-ネフチヒムを傘下にかかえている。05年末の従業員数は14万5,400人。

チュメニ石油会社を意味するTNKは1995年8月9日付政府決定によって、以前国有企業ロスネフチに入っていた企業に基づいて公開型株式会社チュメニ石油として設立された。97年7月、TNK株の40%を売却するための投資コンクールが行われ、閉鎖型株式会社ノーヴィ・ホールディングが落札した。同社の株式の50%はアルファ・グループ関係者が保有し、残りの50%は米国の投資家が関与する合併の生産金融持ち株会社である閉鎖型株式会社レノヴァが保有。2002年末の段階で、TNK株の97%をキプロスにあるNovy Investments社が保有。同社はTNK International Ltd.の100%子会社で、TNK International Ltd.は、アルファ・グループの子会社であるAlfa Petroleumと、アクセス/レノヴァ・グループ(アクセス・グループはニューヨークの私的投資グループ)の子会社との合併会社TNK Industrial Holdingsが100%株式を保有する会社だ。

TNK Internationalはシブネフチ(アブラモヴィッチ参照)との合併会社に50%を出資し、その合併会社はスラヴネフチ(1994年4月8日付政府決定および同年6月15日付ベラルーシ共和国閣僚会議指令によって、ロシア・ベラルーシ公開型株式会社・石油ガス会社スラヴネフチが設立)株の99%を保有するほか、TNK Internationalはオナコ(94年6月19日付政府決定によって、すべての子会社がオレンブルク州に位置する垂直統合形態の石油会社として設立)株の61%を保有。オナコ株の32%はTNKが保有。

一方、TNK Industrial Holdingsはシダンコ(1994年5月5日付

政府決定に従って、公開型株式会社・シベリア極東石油会社シダンコが設立)株の57%をもち、BPがシダンコ株の25%を保有していた。

2003年2月、TNK Internationalの保有者であるアルファ・グループ、アクセス・グループ、レノヴァ・グループ(AARグループと呼ばれる)は、BPとともにTNK-BPを設立することを明らかにした。BPは03年6月、TNK株の50%を61億5,000万ドルで買収した。AARとBPはTNK-BP株の50%ずつを保有し、TNK-BPは03年8月に設立された(9月説もある)。TNK-BPの支配下には、TNK株の96%、オナコ株の98%、シダンコ株の98%、スラヴネフチ株の99%を保有する、シブネフチとの合併会社の株式の50%などがおかれた。

2004年11月になると、チュメニ州にTNK-BPホールディングが登録された。TNK-BPホールディングのもとに、TNK、オナコ、シダンコ、ほか14社が統合されることになり、TNK、オナコ、シダンコの株などがTNK-BPホールディング株と一定割合で交換された。

2005年12月、その資産の一部である、サラトフネフチガス、製油所オルスクネフチオルグシンチェズなどが独立系石油会社ルスネフチに売却された。ルスネフチはさらにTNK-BPから年590万トンの石油採掘会社ウドムルトネフチを買収しようとしている。TNK-BPで働いているのは04年で約10万人(9万9,000人)。TNK-BPホールディングになると、9万2,800人ほどになる。

なお、アルファ・グループとしては、通信会社ヴィンペルコム、メガフォン、Golden Telecomを保有し、アルファ銀行(2005年1月1日現在、資産第4位2,036億ルーブル)もかかえている。一方、

レノヴァはアルミニウム会社であるSUALを保有している。

アブラモヴィッチ・グループ

1995年8月24日付大統領令および95年9月29日付政府決定によって、シベリア石油会社シブネフチが設立された。この設立に際して、アブラモヴィッチは2人のユダヤ系のベレゾフスキーとスモレンスキーのパートナーになった。

1995年末、シブネフチ株の51%が担保オークションされた際、ベレゾフスキーが支配する石油金融会社が落札した。この株式を売却する投資コンクールでも同社が勝利した。ほかの会社を使って、シブネフチ株は買い集められ、シブネフチ株の85%はベレゾフスキー・グループによって支配された。ベレゾフスキーからシブネフチの経営を任されたアブラモヴィッチは石油輸出などで蓄財し、アルミニウム業界などにも進出した。ベレゾフスキーからアブラモヴィッチへの資産移譲が進み、アブラモヴィッチ・グループが形成された。同グループは2001年秋、ロンドンに設立したMillhouse Capitalにグループの資産を信託した。

Millhouseは所有者の代表として信託された株式(シブネフチ株の88%、ルースキー・アルミニウム株の50% 後にデリパスカ側に2回に分けて売却 など)を管理するが、各社の経営には直接、関与しない(ただし、シブネフチの「年次報告」を見ても、名目上の株主が記載されているため、実質的な株主を特定できない)。2003年春、シブネフチはユコスと合併することになったが、その後、合併は解消。

スルグートネフチガス・グループ

1992年11月の大統領令および93年3月の政府決定に基づいて、93年4月、公開型株式会社・石油会社スルグートネフチガスが石油採掘会社である公開型株式会社スルグートネフチガスなどに基づいて設立された。95年の担保オークションに、同社株の40.12%が出されたが、石油会社スルグートネフチガスの年金基金が落札した。その後も同社は自社株購入を通じて同社の自主性を堅持してきた。

2000年になって、石油会社スルグートネフチガスは、その石油採掘子会社スルグートネフチガスの増資株と、同社株や子会社持ち分を交換することによって、グループ内で株式の一本化をはかった。つまり、子会社であったスルグートネフチガスが親会社である石油会社スルグートネフチガスやそのほかの子会社を事実上、吸収したことになる。

2002年3月末の段階では、採掘会社のスルグートネフチガスは中央スルグートデポジタリー株の100%を保有し、逆に中央スルグートデポジタリーはスルグートネフチガス株の2.5%をもっていた。

さらに、採掘会社スルグートネフチガスは石油会社スルグートネフチガス(持ち株会社)株の93.1%を保有し、石油会社スルグートネフチガスは前者株の36.7%を保有していた。上記の中央スルグートデポジタリーは石油会社スルグートネフチガス株の6.2%をもち、石油会社スルグートネフチガスは中央スルグートデポジタリー株を保有していなかった。ところが、2002年12月末になると、

採掘会社スルグートネフチガスと石油会社スルグートネフチガスとの株式持ち合いが解消され、前者は中央スルグートデポジタリー株の63.2%をもち、中央スルグートデポジタリーが石油会社スルグートネフチガス株の6.4%を保有する一方、石油会社スルグートネフチガスが中央スルグートデポジタリー株の36.8%をもち、中央スルグートデポジタリーが公開型株式会社スルグートネフチガス株の3.75%を保有する形に改められた。

2003年6月、本来、公開型株式会社で持ち株会社形態をとっていた石油会社スルグートネフチガスを有限会社Leasing Productionに再編した。有限会社は公開型株式会社と異なって、四半期ごとの決算を公表する必要がなく、連邦有価証券市場委員会に四半期ごとに報告する必要もない。

こうして採掘会社スルグートネフチガスは公開型株式会社スルグートネフチガスとなり、その株式の62%は同社の子会社や孫会社に保有されることになった、とHermitage Capital Managementは主張する。このグループには、スルグートネフチガス銀行(2005年1月1日現在、資産第38位243億ルーブル)が含まれている。

(出所)[10][12][14][31][40][44][69], www.tnk-bp.ruなどから作成。

付表2 各石油会社の

	採掘・生産の概要	製油所
ルクオイル	2005年末までの段階でカザフスタンの7、アゼルバイジャンの1プロジェクトで採掘段階にある。海外で探査・生産に従事している諸国数は9カ国(カザフスタン、アゼルバイジャン、ウズベキスタン、エジプト、イラン、イラク、コロンビア、サウジアラビア、ベネズエラ)。トルクメニスタンで石油採掘に従事するドラゴンオイルの買収計画あり。05年10月からベネズエラでの石油開発プロジェクトに参加開始。	オデッサ製油所(ウクライナ) 生産能力年360万～390万トン
	ルクオイルは1995年、カザフスタンの国営会社ユジネフチガスとともに、カザフスタンにある鉱区の石油ガス開発のための合併会社トゥルガイ・ペトロリウムを設立。ユジネフチガスは96年にカナダの会社に売却され、ペトロカザフスタンに改名。	Nefthim (Burgas, ブルガリア) 生産能力年1,050万～1,070万トン
	ルクオイルは2005年10月、20億ドルを出してNelson Resourcesを買収する計画を明らかにした。Nelson Resourcesはカザフスタンの採掘会社資産を保有。	Petrotel (Ploeshti, ルーマニア) 生産能力年240万トン
ロスネフチ	カザフスタンの2地区で石油・ガス生産(持ち分は50%)。アルジェリアで石油開発(持ち分は50%)。コロンビアで石油生産(持ち分は45%)。	

海外展開

製油所の概要	マーケティング・販売・その他の概要
<p>LUK-Sintez Oil B.V.は2000年5月に2,000万ドルでオデッサ製油所株の97% (100%説もある)を取得した。00年から工場の近代化に投資された総額は4,630万ドル(00年に160万ドル, 01年に500万ドル, 02年に790万ドル, 03年に1,740万ドル)。04年までにほぼ同じ金額が投資されなければならない。10年間で工場のリストラや近代化に5億ドルを投資する計画。この会社名はルクオイル・オデッサ製油所で,ルクオイルが株式の92.7%を保有。なお,ルクオイルはウクライナの石油化学会社ルクオイル・ネフチヒムとウクライナの国家コンツェルン・オリアナとの合弁会社ルコルを00年に設立した。エチレン, プロピレンなどの生産を行う。ただし,ルコル設立の合法性に疑念がもたれている。</p>	<p>ルクオイルは100%子会社として,2000年にLITASCO (LUKOIL International Trading and Supply Company)をジュネーブに設立し,10カ国に子会社を展開。ルクオイルの石油・石油製品の輸出に責任をもつ。00年にGetty Petroleum Marketingから1,300ものガソリンスタンドを購入。05年末で米国に1,965,欧州とNIS諸国に2,171のガソリンスタンドを保有。04年1月,ConocoPhillipsから米国で308のガソリンスタンドを購入。</p>
<p>1999年,製油所の株式は全体で1億100万ドルのコンソーシアムによって取得され,ルクオイルの持ち分は8,100万ドル。工場の近代化投資という追加投資義務は03年までに2億6,800万ドルというものだった(ルクオイルは2億3,200万ドル)。2005年までに同金額を投資する計画。排ガス規制ユーロ3は,07年にクリア,ユーロ4は09年にクリア予定。</p>	<p>ルーマニア,セルビアなどでも石油製品販売に従事。</p>
<p>製油所の株式は1998年4月,5,300万ドルで取得された。工場の近代化に対する追加投資義務は5年間で2億ドルで,うちルクオイルは1億2,500万ドル。すでに排ガス規制ユーロ3,4をクリア。</p>	
	<p>2002年8月,ロスネフチとイテラはアフガニスタン鉱工業省と石油ガス産業のリストラに関する議定書に署名した。02年10月,米国のマラソン石油と合弁会社設立の仮取り決めに署名。</p>

付 録

	採掘・生産の概要	製油所
ユコス	カザフスタンのフェドロフスク鉱 区の開発（持ち分は78%）	Mazheikiu Nafta （リトアニア） 生産能力年1,200万トン
TNK-BP		リシチャンスクネフチオ ルグシンチェズ （ウクライナ） 生産能力年1,600万トン
スラヴネフチ		モズィルスク製油所（ベラルーシ） 生産能力年1,200万トン
タトネフチ		ウクルタナフタ （クレメンチュグスク製油 所，ウクライナ） 生産能力年1,860万トン

（出所）[50] pp.34-35ほか，新聞，雑誌情報などから作成。

製油所の概要	マーケティング・販売・その他の概要
<p>2002年 総額 1億6,000万ドルプラス製油所(マジェイスク製油所)の近代化投資に1億5,000万ドルを拠出する条件付きで、株式の53.5%を取得。別の情報では、ユコスオランダにある子会社Yukos Financeがこの会社の株式の53.7%を保有し、残りの40.66%はリトアニア政府に属しているという。ユコス事件でユコスによる石油供給が難しくなったため、ルクオイルやTNK-BPが株式取得に関心を示していた。ルクオイルはConocoPhillipsと合併会社を設立して入札に参加しようとしたが、リトアニアにはこうした動きに反発があった。結局、06年5月末、ユコスは保有株をポーランドのOrlenに14億9,200万ドルで売却することになった。同年6月、リトアニア政府は30.66%の保有株を8億5,200万ドルでOrlenに売却し、残りの10%も5年以内にOrlenが購入できるようにした。</p>	<p>スロバキアでパイプライン「友好」のオペレーターを果たすTranspetrol株の49%を100%子会社のYUKOS Finance B.V.を通じて保有していたが、2006年2月、ルスネフチに1億ドル強で売却。実際の売買執行は政府の反対で遅れている。オーストリアにおける石油パイプライン建設のための合併会社設立(持ち分は50%)。ラトビア、米国、英国でマーケティング。</p>
<p>2001年7月、株式の64%強を取得(02年7月現在、67.41%という情報も。保有しているのはTNK-ウクライナ)。かかった費用は全体で7,900万ドル(株式自体は900万ドルだが、企業のリストラに別に1,100万ドルを出すのがコンクールの条件だった。残りは製油所の負債返済に回されなければならない)。その製油所の救済の結果、その資産はリシチャンスク投資会社に渡り、03年初め、その資産をTNK-ウクライナが取得、その業務は有限会社・商社TNK-ウクライナに委任。TNK-BPの株主のひとつであるAccess IndustriesおよびインドのChatterjee Groupは、05年5月、Royal Dutch/ShellとBASFが00年に設立したオランダを根拠地とするポリプロピレンなどの製造会社Basellの100%持ち分を上記2社から購入することで合意した。</p>	<p>ウクライナで51のガソリンスタンドを展開。</p>
<p>会社形成時点に会社の構成に工場が入っていたので、工場の株式購入に投資資金は不要だった。</p>	
<p>タートルスタン政府とタトネフチは総計で製油所の株式の51%強をすでに支配している(28.8%がタートルスタン政府、26.6%がタトネフチ、18%はタトネフチのオフショア関連会社が保有)。26.6%の株式に対するタトネフチの投資は約4,000万ドルであった。</p>	

付表3 ロシアの富豪

順 位		富豪名	年齢 ¹⁾	資 産 (10億ドル)
2006	2005			
11	21	アブラモヴィッチ	40	18.2
37	122	アレクペロフ	56	11.0
41	60	リーシン	50	10.7
44	94	ヴェクセリベルグ	49	10.0
50	60	フリードマン	42	9.7
62	84	デリパスカ	38	7.8
64	107	モルダシヨフ	41	7.6
72	-	ケリモフ	40	7.1
89	117	ポターニン	45	6.4
89	117	プロホロフ	41	6.4
93	258	エフトゥシェンコフ	58	6.3
94	306	ハン	45	6.1
109	306	ツヴェトコフ	46	5.2
125	272	アブラモフ	47	4.9
129	413	クズィミチョフ	44	4.8
136	413	マフムドフ	43	4.5
158	272	ボグダノフ	55	4.1

(2006年『フォーブス』)

経歴²⁾

1996年からシブネフチ取締役。2000年12月チュコチ自治管区知事に選出(05年末まで任期)。03年英国の名門サッカーチーム・チェルシーを支配。

1990～91年石油ガス工業省次官, 第一次官。91年からルクオイル社長。

1998年からノヴォリペツク冶金コンビナート取締役会議長。

1996～2000年「シベリア・ウラル・アルミニウム(SUAL)」社長。2000～03年からSUALホールディング社長。03年1月SUAL取締役会議長。

1991年からアルファ銀行取締役会議長。96年からコンソーシアム・アルファ・グループ取締役会議長。

2000年からルースキー・アルミニウム社長。

1996年から北方鉄鋼社長。2002年から持ち株会社北方鉄鋼グループ社長。同株式の82%の便益享受。北方鉄鋼アフトと北方鉄鋼資源も支配。

1999～2003年 2003年～下院議員。ディーラー・ナフタ・モスクワの保有者。

1993～96年オネクシム銀行社長。96年8月～97年3月連邦政府副首相。98年6月から持ち株会社インターロス社長兼取締役会議長。

1993～2000年オネクシム銀行社長。2000～01年ロス銀行社長。01年7月から鉱山会社ノリリスクニッケル重役会議長。

1993年に株式金融会社シスチエマを設立し, 取締役会議長。2005年1月ロンドン証券取引所上場前に社長に。

1996年アルファエコー社長。98年2月チュメニ石油第一副社長。2003年3月からTNK-BP執行取締役。

1994～95年ニクオイルの社長を務めながらルクオイルの有価証券部門を主導し, 96～97年にはルクオイルの副社長, 2003年アフトバンク・ニクオイル代表。その後 金融コーポレーション・ウラルシブ社長。05年銀行ウラルシブ重役会議長。

1992年トレーディング会社エヴラズメタルを設立。2000年エヴラズホールディングを設立し, 社長に就任。

アルファ・グループの共同保有者。アルファエコー・グループの取締役会議長。

ウラル鉱山冶金会社(UGMK)を中心とするグループを主導。UGMKはノリリスクニッケルに次ぐ銅生産企業で, 傘下に30社以上をかかえている。UGMKは1999年にマフムドフによって設立。

1993年から石油会社スルグートネフチガス社長。

付 録

順 位		富豪名	年齢 ¹⁾	資 産 (10億ドル)
2006	2005			
168	321	フェドゥン	50	4.0
173	228	イヴァニシヴィリ	50	3.9
185	151	ラシニコフ	58	3.6
194	413	レベチェフ	47	3.5
224	-	アーヴェン	51	3.0
258	548	メリニチェンコ	34	2.7
258	548	ポポフ	35	2.7
278	366	ウスマノフ	52	2.6
292	-	ミヘリソン	51	2.5
335	507	バトゥーリナ	43	2.3
335	-	フロロフ	42	2.3
410	-	タリコ	44	1.9
451	437	イオリフ	48	1.7
451	437	ズュージン	46	1.7
486	-	ルィポロヴレフ	40	1.6
606	-	アニシモフ	55	1.3

(注) 1) 2006年末予測。 2) 2005年8月現在だが、一部、確認でき(出所) <http://www.forbes.com> ほか、各種資料から作成。

経 歴²⁾

1994年3月からルクオイル副社長，重役会メンバー。

銀行ロッシースキー・クレジットとインペクス銀行を支配。インターフィン・トレードや管理会社ユニコルも支配。2006年，インペクス銀行をオーストリアのRaiffeisen銀行に売却。

1967年からマグニトゴルスク冶金コンビナートで働きはじめる。91年技師長，97年社長。2005年取締役会議長。

1995年ナショナル・リザーブ銀行社長。ナショナル・リザーブ・コーポレーションを支配。2003年下院議員。

1991～92年対外経済関係相。94年アルファ銀行社長。

2001～05年からMDM銀行取締役会議長。03年に設立された金融グループMDM株の50%を保有。

2000年メリニチェンコとともにMDM産業グループを組織。00年からMDM銀行取締役。03年から金融グループMDM株の50%を保有。

1990～94年閉鎖型株式会社インターロス第一副社長。94～95年モスクワ航空機企業合同(MAPO)社長顧問。95～97年MAPO銀行第一副社長。97～2001年アルハンゲリスクゲオールドフィチャ取締役。98～00年ガスプロムインヴェストホールディング第一副社長。00年2月から同社社長。

1994年管理会社ノヴァフィンインヴェスト社長。2003年同社改変後のノヴァテク社長。ノヴァフィンインヴェストのイテラ・ホールディングとの合併後に設立された石油ガス会社イテラの社長(重役会議長)を兼務。

ルシコフ・モスクワ市長の妻。建設業や農業を展開する閉鎖型株式会社インテコ株の99%を保有。2005年セメント部門などを売却。

2006年5月からエヴラズ・グループ取締役会議長に就任予定。

アルコール輸入，ウォッカ・ルースキー・スタンダルトを立ち上げ，消費者金融に参入。銀行ルースキー・スタンダルト取締役会議長。

2004年1月から鉄鋼グループ・メチェル社長。

1999年から石炭会社南クズバス取締役会議長，2003年にメチェルが設立され，取締役会議長。

ウラルカリー(肥料・塩化カリウム製造)取締役会議長。

Coalco社長。ウラルスターリ(NOSTAはウラルスターリに改称)株の100%、ロシア第2位の鉄鉱石供給企業ミハイロフスキーGOK株の97.57%などを保有する閉鎖型株式会社メタロインヴェスト株の50%を保有。残りはウスマノフが保有。

ないものがある。

付図1 ガスプロムの

本
戦略・計画化, 外部
統一ガス輸送システ

採掘・生産	輸送・貯蔵
<p>確認埋蔵量16.3兆m³ - ロシア全体の60%</p>	<p>UGTS - 149,900km。 パイプラインで6,370億m³を輸送。ロシア全体の100%</p>
<p>生産量5,400億m³ - ロシア全体の87%</p>	<p>24の地下貯蔵施設</p>
<p>100%子会社 4 社 ・ウレンゴイガスプロム ・ヤンブルグドヴィチャ ・ナドィムガスプロム ・ナヤプリスクガストドビチャ - ガスプロムの生産の92%</p> <p>掘削・探査に責任をもった 100%子会社 - Burgaz</p>	<p>19の100%子会社。 うち 5 社は生産・精製にも従事</p>

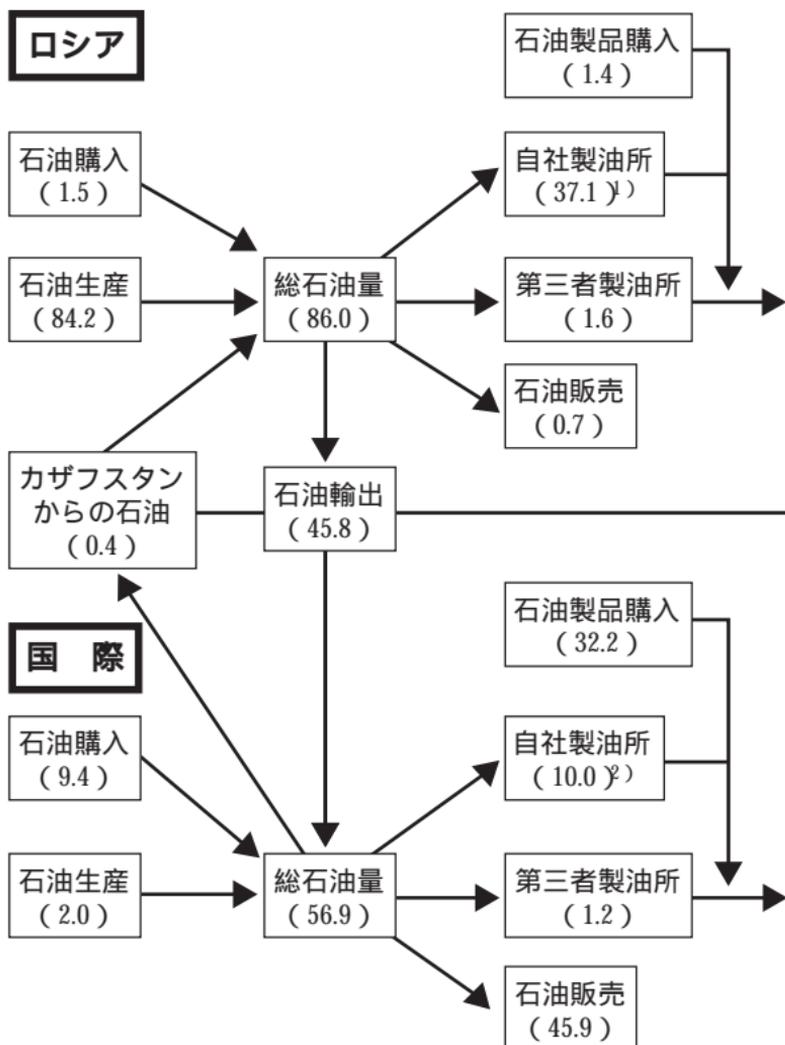
(出所)[28] p.110.

会社構造（2003年段階）

社
資金調達，財務報告
△(UGTS)の配送運用

精製・加工	配送・マーケティング	サービス・その他
ガス336兆m ³ ， 1,000万トンの液化 ガスを精製・加工	国内配送量3,110億m ³ - ロシア全体の83%	UGTSの技術的監 視。パイプライン の建設
ロシアの 液化ガスの25% ゴムの50% タイヤの48%	輸出1,800億m ³ - 欧州における シェア23%	調査・研究など
5の100%子会社 ロシア最大の石油 化学会社 Sibur - 75%(ガスプロム の持ち株比率)	国内マーケティング のための100%子会 社Mezhregiongaz 89の国内配送会社 対欧州輸出を担当 する100%子会社 Gazexport	57のR&Dセンター ガスプロム銀行 - 87%(ガスプロム の持ち株比率) 保険会社Sogaz - 76%(ガスプロム の持ち株比率) テレビ局NTVなど を管理する Gazprom-Media

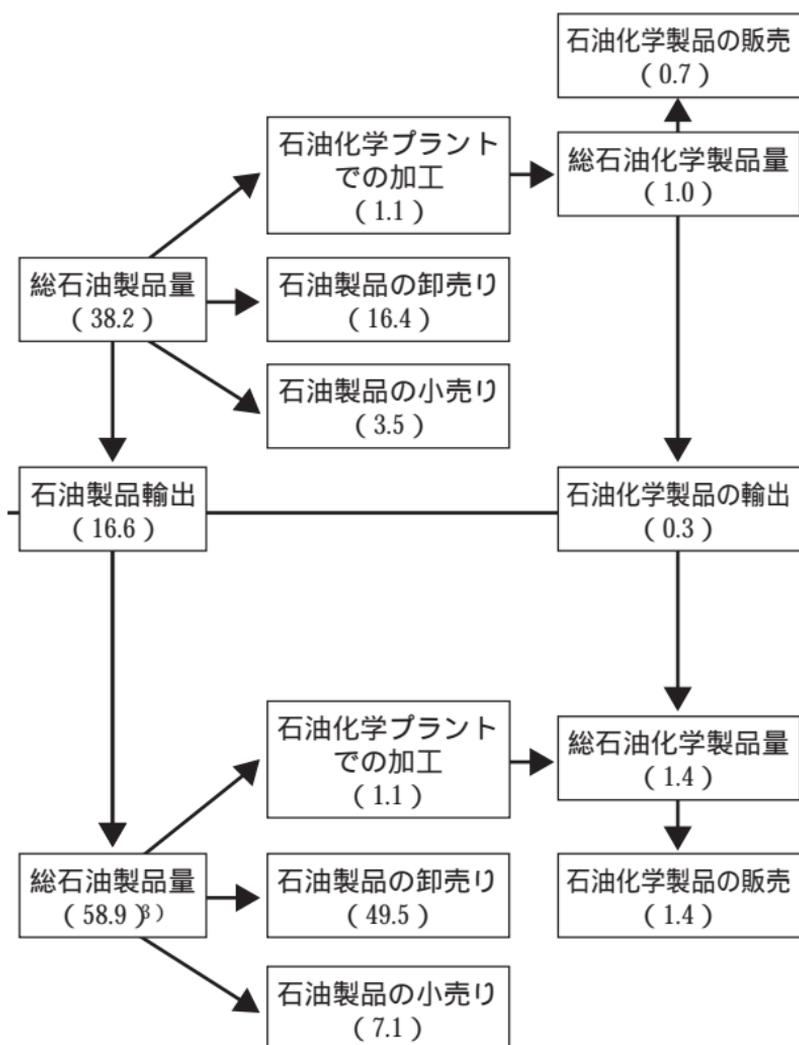
付図2 ルクオイル・グループにおける



(注)カッコ内の単位は100万トン。1)ミニ製油所を除く。2)石油化学製品を含む。

(出所)[43] pp.62-63.

取引関係（2005年）



Burgas製油所で加工される石油を除く。3) Burgas製油所で生産された